

# PRESIO

## PRESIO 21A

2.1ch スピーカーシステム

### 取扱説明書

この度は「PRESIO 21A」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は、本製品を正しく安全にお使いいただくための使用方法や  
注意事項が記載されております。ご使用前には必ずお読みください。  
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。






#### ※取扱説明書の表記について








- ・ RockridgeSound Japan Co., Ltd.は、日本における輸入販売元であり  
以下「当社」と表記します。
- ・ 「PRESIO 21A」は、本製品と表記します。
- ・ この取扱説明書を以下、本説明書と表記します。

# 安全上のご注意 (正しく安全にお使い頂くための注意事項)

## 表示と絵表示の例

この「安全上のご注意」は、製品を正しく安全にお使いいただき、使用者、ならびに他の人々への危害や、財産への損害を未然に防ぐためのいろいろな絵記号表示を示しております。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱を行った場合、人が死亡または重傷を負う可能性のある事項を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱を行った場合、人が重傷及び、物的損害の発生する事項を示しています。
	左に示す記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。
	左に示す記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
	左に示す記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 <b>警告</b>	 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本製品より異常な音、変なにおい、煙などの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。ただちに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コンセントに近づけない、またはプラグが熱を帯びて触れない場合はプレーカーを切ってください。また、プラグを引き抜くときに、やけどにもじゅうぶんに注意してください。</li> <li>本製品に水などの液体がかかるか、内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、すぐに電源プラグをコンセントから引き抜いてください。そのまま使用をつづけると、火災・感電の原因となります。</li> <li>本製品内部に、異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、すぐに電源プラグをコンセントから引き抜いてください。そのまま使用をつづけると、火災・感電の原因となります。</li> <li>本製品を落としたり、製品が破損・損傷したりした場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、すぐに電源プラグをコンセントから引き抜いてください。そのまま使用をつづけると、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードが痛んで(芯線の露出・断線など)破損したときは、プラグを抜いてください。また、電源プラグが発熱したときは、ただちにプレーカーを切り、プラグが触れる程度に冷えたことを確認してから、コンセントから引き抜いてください。そのまま使用をつづけると、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードを加工したり、傷つけたり、無理にねじったり、曲げたり、引っばったりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本製品の下敷きにならないように設置してください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
	 <p>水場での使用禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風呂場や、水場、湿度の高い環境では、使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 <p>使用禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。</li> </ul>	

# 安全上のご注意 (つづき)

 <b>警告</b>  	 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対を外さないでください。内部には電圧の高い個所があり感電の原因となります。</li> <li>・本製品は分解したり、改造しないでください。火災・感電・破損の原因となり、大変危険です。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品の上に植木鉢、花ビン、コップ、化粧品、薬品や、水、液体などの入った容器や、クリップ貴金属などの小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。</li> </ul> <p><b>通風孔のある機器のみのご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。本製品は内部の温度上昇を防ぐためにケース上部や底部などに通風孔を開けてありますので、次のような使い方をしないでください。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品を横倒し、仰向け、逆さまにして使用する。</li> <li>・本製品を押し入れ、専用ラック以外の本棚やダンスなどの風通しの悪い場所に押し込む。</li> <li>・テーブルクロスなどの布製品を上にかけてたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。</li> </ul> </li> <li>・本製品の通風孔、ディスクの挿入口、カセットテープの挿入口などから、内部に金属物や燃えやすい物などを差し込んだり、無理に押し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいるご家庭では特に注意してください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品を表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> <li>・本製品を使用できるのは日本国内のみです。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。思わぬ故障が発生し、火災の原因となります。</li> <li>・本製品に水が入ったり、ぬらさないよう注意してください。火災・感電の原因となります。雨中、降雪中、海岸、川原、湖畔などの水辺での使用には特に注意してください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品を設置する場所は、壁から 10cm以上離して設置するようにしてください。ラックなどに入れて使用するときは、本製品の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすき間を空けて設置してください。また、放熱をうながすために他の機器とは間隔を空けてご使用ください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品を熱器具の近くや直射日光の当たるところには設置しないでください。その様な場所で使用しますと、火災や故障の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品、スピーカー内部に金属片や異物などを落とさないでください。ショートや発熱などを起こし火災の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品、スピーカーケーブルの上に重いものを乗せたり、ケーブルが本製品の下敷きにならないよう設置してください。また、壁や扉などの間に挟みこんだりしないでください。スピーカーケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。</li> <li>・本製品、スピーカーケーブルを人の通るところなど引っ掛かりやすい場所に配線しないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。また、スピーカーケーブルの断線により、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品、スピーカーケーブルを熱器具の近くや直射日光の当たる場所には近づけないでください。スピーカーケーブルの被服が溶けて、火災・感電の原因となります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品をたたいたり、強い衝撃をあてないで下さい。破損して、火災・感電の原因となります。</li> </ul>

# 安全上のご注意 (つづき)

 <b>注意</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品をぐらついた台の上や、傾いた場所などの不安定な所へ設置しないでください。また、設置場所の強度は本製品の重みに耐えられる場所に設置してください。落下したり、倒れたりして、けがや事故の原因となることがあります。</li> <li>・本製品を高いところへ設置した場合に、不意な衝撃に対して落下に耐えられるよう固定してください。固定しないままご使用を続けますと、落下して、けがや事故の原因になることがあります。</li> <li>・ほこりや、湿気の多い場所へ設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。</li> <li>・調理台(ガス、電気コンロなど)や加湿器のそばなどの、油煙や蒸気が当る場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。</li> <li>・窓を閉めきった自動車の車内や直射日光の当る場所などの通常温度より高温となる場所に放置しないでください。部品やキャビネットなどに悪影響を与え、火災・感電・故障の原因となることがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品を高いところに設置される場合には、設置作業が不安定になりますので作業には十分注意してください。けがや事故の原因となることがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品をご使用中、突然の事故防止のために、本製品を電源コンセントの近くに設置し、万一のときすぐに電源コンセントから電源プラグを引き抜けるようにしてください。</li> <li>・本製品の電源を入れる前に音量(ボリューム)摘みを最小にしてください。突然、大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品を長時間、定格を超える入力を入れた状態や、音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。適切な入力、音量で使用してください。</li> <li>・本製品の電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</li> <li>・本製品の電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないようにしてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・音量を上げ過ぎないようにご注意ください。刺激音(大きな音量)を長時間聞き続けると、聴力障害などの原因となることがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の本製品のスピーカーやポート(音響孔)に、手を入れないようにご注意ください。けがや感電の原因となることがあります。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行などで長時間、本製品をご使用になられないときには、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> <li>・本製品をお手入れする際には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> </ul>
	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本説明書にしたがって正しい操作をしたにもかかわらず、本製品が正常に動作しない場合や性能に明らかな異常が認められる場合には、絶対にそのまま使用せず、当社カスタマーサポート係にご相談ください。</li> <li>・プラグを含む電源コードおよび、本体内部に実装されています部品の交換、修理は当社または当社が認めた保守担当者以外には行うことができません。ご自身での分解ならびに改造は絶対におやめください。火災・感電・その他の障害の原因となることがあります。</li> </ul>

# 安全上のご注意 (つづき)

## 電池の取り扱いについて

電池の取り扱いを誤りますと、電池が破裂したり、液もれによる衣服や周囲の汚れ、火災・ケガの原因となる事があります。次に示すことがらに注意してご使用ください。



注意

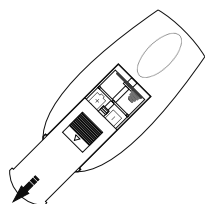


- ・本製品、指定以外の電池を使用しないでください。
- ・電池のプラス (+) とマイナス (-) を間違えないでください。
- ・電池のプラス (+) とマイナス (-) をショートさせないでください。
- ・電池を加熱しないでください。
- ・電池を分解しないでください。
- ・電池を火や水の中に入れてください。
- ・新しい電池と一度使用した古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ・種類の違う電池と一緒に使用しないでください。
- ・乾電池は充電しないでください。
- ・長時間使用しないときは、本製品から電池を取り出してください。

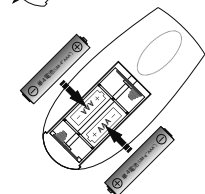
※電池が液もれしてしまった場合、本製品電池ケースに付いた液をよく拭きとってください。万一、もれた液が身体に付着してしまった場合には、水でよく洗い流してください。

## リモコンの準備

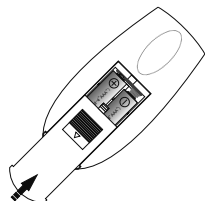
### 電池の入れ方



- ① カバーを矢印の方向に押し上げてはずす。



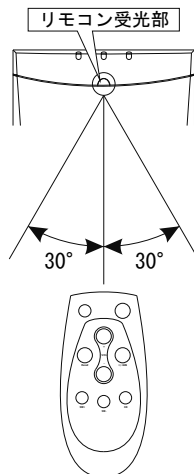
- ② 中の極性表示にしたがって付属の単4電池2個を+ (プラス) と- (マイナス) を間違えないように入れる。



- ③ カバーを戻す。

### リモコンの使用方法

リモコンを使用するときは、先端部をリモコン受光部に向けてください。正面にサブウーファが有る場合は左右30度の角度までが最適です。



# 目 次

---

特 徴	1
本体のお手入れ	1
ご使用上の注意	1
内容物のご確認	2
接続方法	3
リモコンでの操作	4
故障かな？と思ったら	5
設置方法	6
故障の場合のお問い合わせ先	6
仕 様	7

# 特 徴

本製品は、テレビやビデオ機器、ポータブルオーディオなどに接続してご使用いただける、2.1chスピーカーシステムです。接続形式(ステレオミニジャック、ステレオピンジャック)が適合する機器であれば迫力のあるステレオサウンドがお楽しみいただけます。

■ 極厚アルミボディのサテライトスピーカーと本格木製ウーファアのベストマッチング2.1chスピーカーシステムです。

● PC音楽再生からポータブルオーディオ機器まで接続機器を選ばず、再生ジャンルも幅広いソースに対応できるワイドレンジ仕様。

● フルレンジメタルスピーカーを左右4発づつ搭載し、共振を効果的に防ぐ極厚のアルミ筐体を採用。中～高音域をシャープな音質で表現します。

● サブウーファーには、強カマグネットを採用し、パンチの効いた厚い低音再生を実現しました。

## 本体のお手入れ

本製品の通常のお手入れには、やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた溶液にやわらかい布を浸しよく絞ってから本体についた汚れを拭き取り、その後乾いた布でから拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品 などを使用しますと本製品外装が侵され、印刷文字が消えたり、外装のゆがみ、ムラになる事がありますので絶対に使用しないでください。

また、スプレー式の殺虫剤、芳香剤、消臭剤 など本製品外装にかからないようご注意ください。

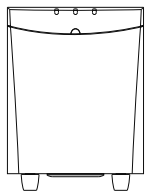
## ご使用上の注意

ご使用になる前に、下記の注意事項を必ずお読みください。

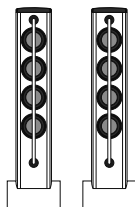
- 本製品のつまみ類に無理な力を加えたり、重いものを乗せたりしないでください。
- 本製品は防磁設計されておりますが、テレビやコンピュータ・モニターの近くに設置しますと画面が歪むことがあります。必ず、それらの機器から離してご使用ください。
- フロッピーディスクやカセットテープなどの磁気記録媒体を近くに置かないでください。データが破損する事があります。
- 電子楽器の信号、過度に歪んだ信号、テストディスクなどを大きな音量で鳴らさないでください。スピーカの破損の原因となります。
- データが記録されたCD-ROMを本製品で再生しないでください。スピーカの破損、聴力障害の原因となります。
- パワースイッチがオン（インジケータランプが点灯）となっている時に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 故障と思われるときには、ただちに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 内容物のご確認

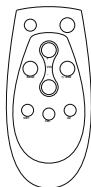
◆当社はお客様のお手元に完全な製品をお届けできるよう最善の努力をしております。開梱されましたら、内容物の欠品やおよび損傷の有無をご確認ください。万一、欠品または損傷がございましたら、お買い求めの販売店または、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



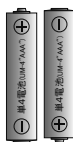
サブウーファー [ 1 ]



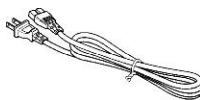
サテライトスピーカー  
[ 2 ]



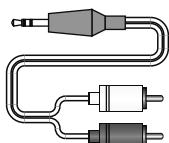
ワイヤレスリモコン  
[ 1 ]



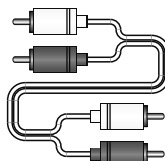
単 4 電池 [ 2 ]



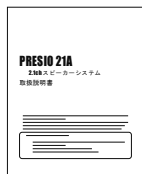
電源ケーブル [ 1 ]



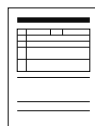
3.5mmステレオミニプラグ  
-RCAピンプラグ  
ケーブル [ 1 ]



RCAピンプラグ-RCAピンプラグ  
ケーブル [ 1 ]

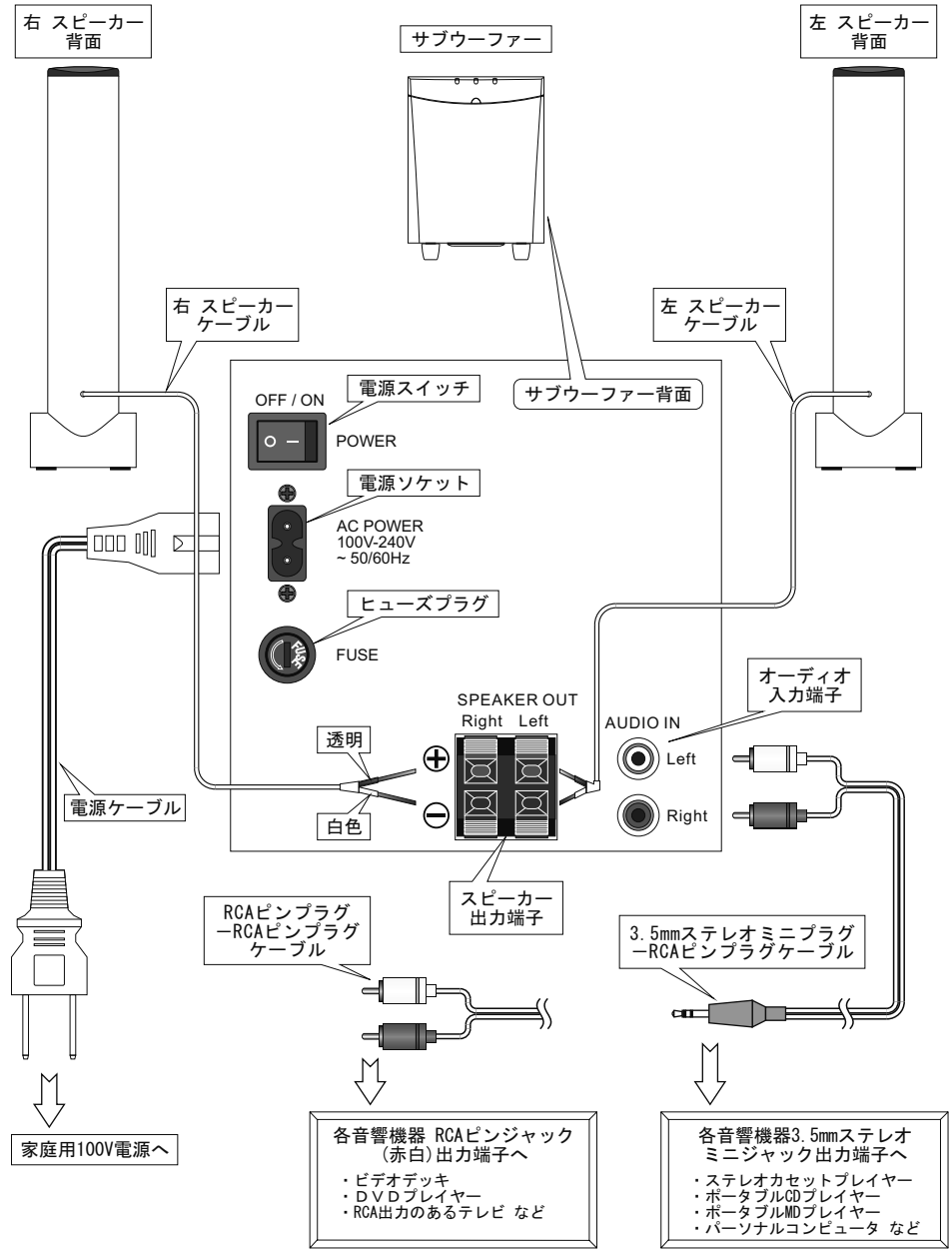


取扱説明書(本書)  
[ 1 ]



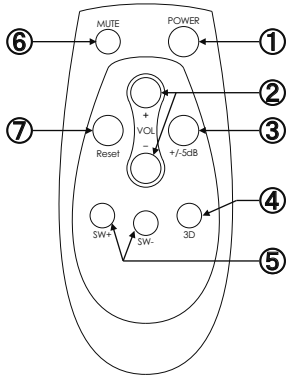
保証書 [ 1 ]

# 接続方法



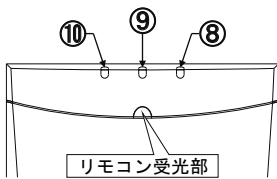
# リモコンでの操作

## リモコンボタンの名称



- ① POWER (電源ボタン)  
電源をオンまたはスタンバイに切り換えます。
- ② VOL +/- (ボリューム +/-)  
+ (プラス) ボタンを押すと音量が大きくなります。  
- (マイナス) ボタンを押すと音量が小さくなります。
- ③ +/- 5 dB (+/- 5 デシベル)  
一回押すと音圧を +5 デシベル上昇させます。  
もう一回押すと音圧を -5 デシベル下降させます。  
さらにもう一度押すと標準に戻ります。  
再生ソースの録音レベルにあわせて最適な音圧でお楽しみいただけます。
- ④ 3 D ボタン  
3 D ボタンを押すと簡単に 3 D サウンドでお楽しみいただけます。
- ⑤ SW +/- (サブウーファー +/-)  
サブウーファの再生ボリュームコントロールです。  
+ (プラス) ボタンを押すと低音が大きくなります。  
- (マイナス) ボタンを押すと低音が小さくなります。
- ⑥ MUTE (消音)  
一時的に再生音を消音するときに押します。
- ⑦ Reset (リセット)  
上記ボタンを押して再生しているときに標準状態での再生に戻ることができます。

## インジケータランプの名称



- ⑧ +/- ランプ  
ボリュームやサブウーファー音量のコントロールをランプの色で表示します。  
+ (プラス) を押すと緑色に点滅します。  
- (マイナス) を押すと赤色に点滅します。  
+/- 一杯になると点滅しません。
- ⑨ ON/STANDBY ランプ  
サブウーファ背面の電源スイッチをオンにしてリモコンの①POWERボタンを押すと緑色に点灯します。点灯時に①POWERボタンを押すとスタンバイになりランプは消灯します。
- ⑩ 3 D ランプ  
リモコン④3 D ボタンを押して3 D 再生時にオレンジ色に点灯します。

# 故障かな？と思ったら

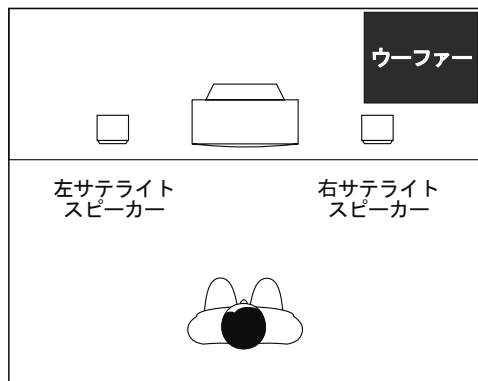
本製品が正常に動作しない場合、下記に示した問題点と照らし合わせて対処してください。ここでは一般的な使用上のミスにおける、症状・原因・対処を記載しております。それでも問題が解決しない、または、下記の内容以外の問題が生じた場合には電源プラグを抜いて、お買い上げ店または、当社カスタマーサポートへご連絡ください。

症状	原因	対処
スピーカから音が出ない。	電源プラグがコンセントに正しく接続されていない。	電源プラグをコンセントにしっかり接続してください。
	電源プラグがウーファー電源入力に正しく接続されていない。	電源プラグをウーファーにしっかり接続してください。
	リモコンの電源スイッチがオンになっていない。	電源スイッチを押してLEDランプが点灯するのを確認してください。
	リモコンのボリュームボタンがー(マイナス)方向にいっぱい(無音)になっている。	リモコンのボリューム+(プラス)ボタンを押して音量を調節してください。
	入力プラグの接続が不良。	入力プラグをコントローラにしっかり接続しなおすか、別の接続ケーブルを使ってください。
	入力信号の音量(レベル)が低すぎる。	接続機器の音量(レベル)を上げてください。
	スピーカー出力プラグの接続が不良。	スピーカー出力プラグをウーファーにしっかり接続してください。
音が歪んでいる。	入力信号の音量(レベル)が高すぎる。	接続機器の音量(レベル)を下げてください。
ノイズ音がする。	入力プラグの接続が不良。	入力プラグをウーファーにしっかりと接続しなおすか、別の接続ケーブルを使ってください。
片方のスピーカからしか音が出ない。	入力信号がモノラル信号です。	接続機器を確認して、もしモノラル信号ならば、モノラルステレオ変換アダプタ等(別売)を使用して接続してください。
ウーファーが熱くなってきた。	ウーファーはアンプを内蔵しています。	故障ではありません。ただし、触れないほど熱くなっているときは速やかに電源プラグを抜き使用を中止し、当社サポートセンターへご連絡してください。

# 設置方法

---

◆本製品を設置する場合、  
下図のようにサテライトスピーカーを前方に配置してください。  
ウーファーは特性上、音場定位が不確定ですので、お部屋の隅などに  
設置していただいてもかまいません。



サテライトスピーカーは左右の距離が離れているほどステレオ感が増しますが  
リスニングポイントは狭い範囲となります。

逆にサテライトスピーカーの左右の距離を近づけますと、ステレオ感は減少しますが  
リスニングポイントは広くなります。

お好みに合わせて設置してください。

## 故障の場合のお問い合わせ先

---

本製品について故障や製品についてのご相談は、当社カスタマーサポート係まで  
ご連絡くださいますようお願いいたします。

### ロックリッジサウンドジャパン カスタマーサポート

TEL : 03-5777-0822

E-mail : [info@rockridgesound.co.jp](mailto:info@rockridgesound.co.jp)

# 仕 様

---

## 構 成

アルミ製サテライトスピーカー(密閉型)× 2

サブウーファー(バスレフ型)× 1

## 最大出力

45W (10W× 2 + 25W)

## 再生周波数帯域

サテライトスピーカー：500Hz～20000Hz

サブウーファー：60Hz～520Hz

## 外形寸法 (高さ×幅×奥行mm)

サテライトスピーカー：265×70×113mm

サブウーファー：239×200×283mm

## 入 力 (ウーファー背面)

RCAピンジャック(R/L)× 2

## 出 力 (ウーファー背面)

スピーカーコード接続端子(R/L)× 1 (サテライト用)

## スピーカーコード長

サテライトスピーカー：左右、各3m

## スピーカユニット

サテライトスピーカー：(25mm密閉型防磁タイプ× 4) × 2

サブウーファー：12cmウーファー× 1

## コントロール (リモコン)

パワースイッチ/ボリュームコントロール

／ウーファーレベル・コントロール／3D

## ヒューズ

1.25A/250V ※お客様ご自身での交換は、おやめ下さい。

弊社カスタマーサポートまでご連絡下さいますよう

お願い致します。

## 付属品

電源ケーブル× 1

リモコン× 1

単4電池× 2

3.5mmステレオミニプラグ-RCAピンプラグ(赤白プラグ)ケーブル× 1

RCAピンプラグ-RCAピンプラグ(赤白プラグ)ケーブル× 1

取扱説明書

保証書

※仕様は予告なく変更することがあります。



# PRESIO

輸入・販売元

**ロックリッジサウンドジャパン株式会社**

**RockridgeSound Japan Co., Ltd.**

<http://www.rockridgesound.co.jp>

---

〒105-0003 東京都港区西新橋3-18-20

TEL: 03-5777-0823 FAX: 03-5777-0826

E-mail: [info@rockridgesound.co.jp](mailto:info@rockridgesound.co.jp)